



保管用

〈環境配慮型非常用照明器具（電源別置型）〉

品番 LB (LBH) 94561 J (非常灯白熱灯併用・専用兼用型)

※上記 () 内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

(一般屋内用) ・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

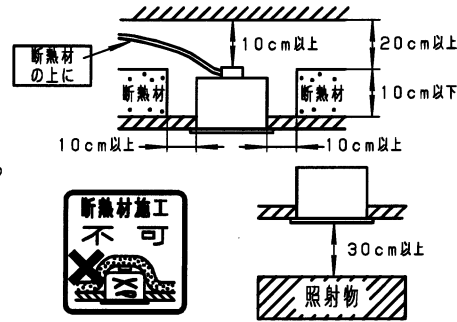
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、取付方法にしたがい確実に行う。
施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しない。
火災の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井埋込専用ですので、壁取付や天井直付け及び斜傾天井への取付はしない。
火災・感電・落下の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しない。
火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。



注意

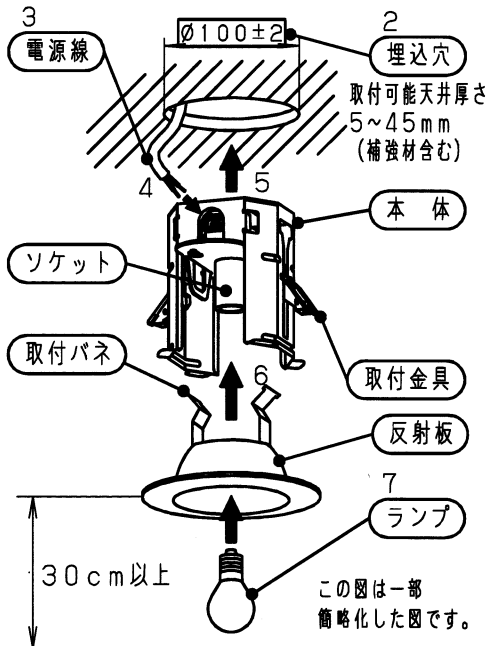
- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨のかかる場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
落下・感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、5~35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

各部のなまえと取付け方

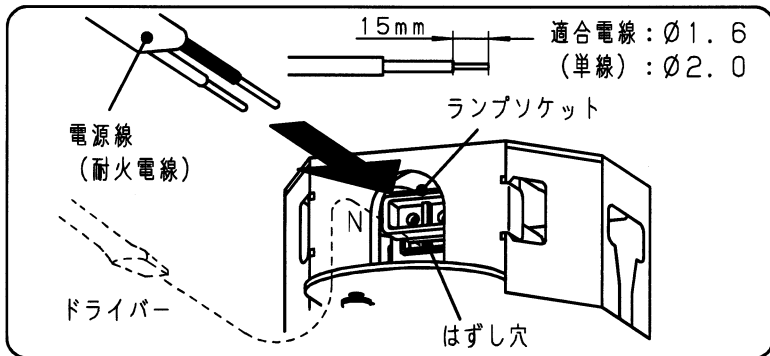
器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。 けがのおそれがあります。

取付ボルトを使用しない場合

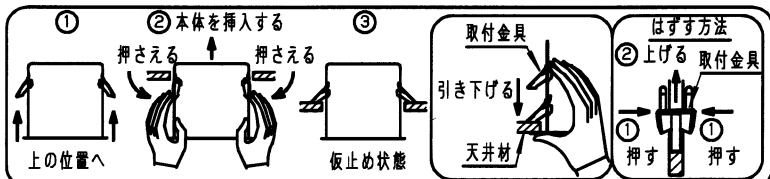
ロックワール等のやわらかい天井に取付ける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板、木片等）を入れてください。補強材なしの場合、光モレの原因となります。



1. 取付前の確認
 - ・器具質量 (0.4kg) に十分耐えるよう、取付部の強度を確認する。
不備がありますと器具落下の原因となります。
2. 天井に $\phi 100 \pm 2$ の埋込穴をあける
3. 電源線（耐火電線）を引き出す
4. 本体にソケット台を取付けたままソケットに電源線を接続する



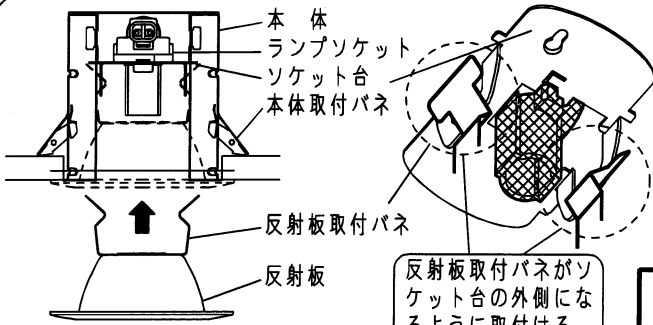
5. 本体を取付金具で取付ける
 - ・本体を埋込穴に入れ取付金具を引き下げて確実に固定する。



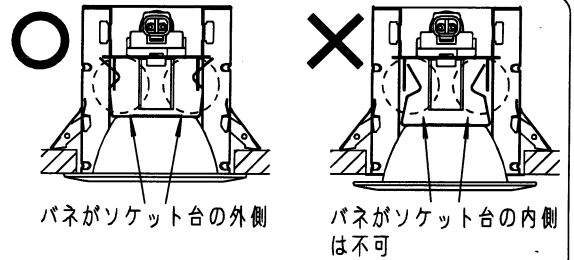
警告

照射物との距離は30cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

6. 反射板を取付ける



本体取付パネと反射板取付パネを平行にして、反射板の中心とランプソケットの中心を合わせて下からまっすぐ上に取付けてください。



⚠ 注意

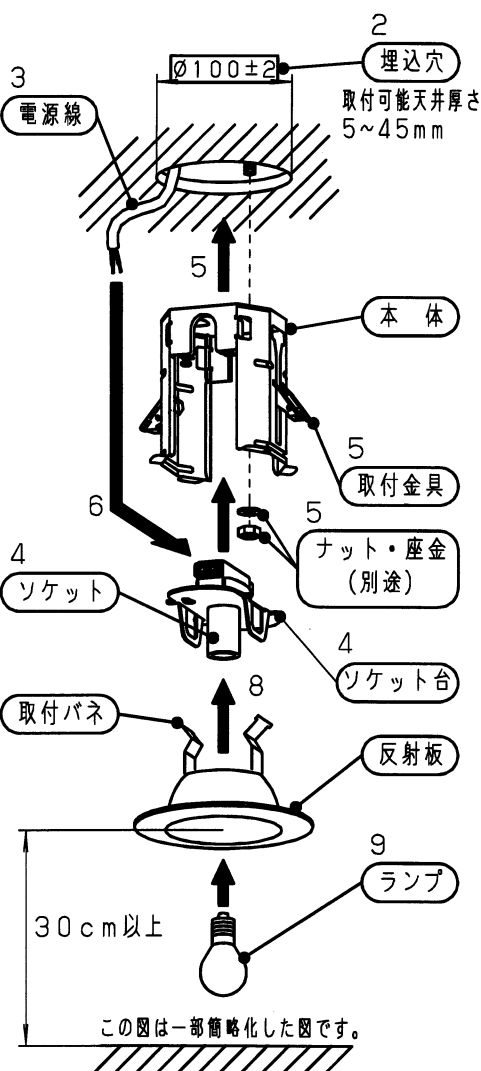
- ・反射板と天井面にスキマがないことを確認する。
- ・反射板を取付けた状態で下に軽く引いて容易に外れないことを確認する。

不備がありますと器具落下の原因となります。

7. ランプを確実に取付ける

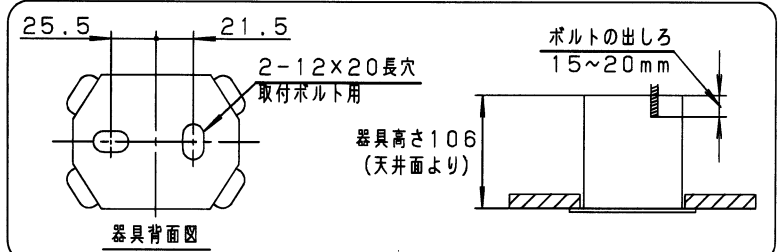
- ・ランプはソケットの奥までしっかりとねじ込んでください。
- 不備がありますと火災・落下の原因となります。

取付ボルトを使用する場合



1. 取付前の確認

- ・器具質量(0.4kg)に十分耐えるよう、取付部の強度を確認する。
- 不備がありますと器具落下の原因となります。

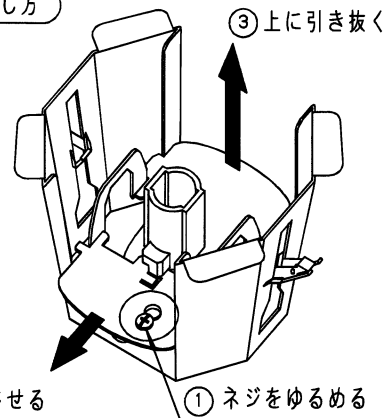


2. 天井に $\phi 100 \pm 2$ の埋込穴をあける

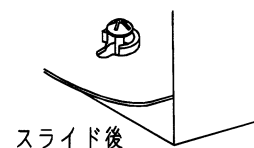
3. 電源線(耐火電線)を引き出す

4. 本体からソケット台を外す

ソケット台の取外し方



固定ネジ ダルマ穴



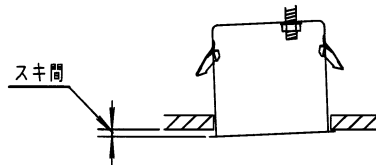
警告

照射物との距離は30cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

5. 本体を取付ける

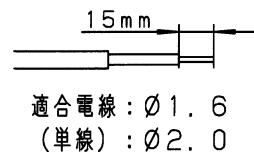
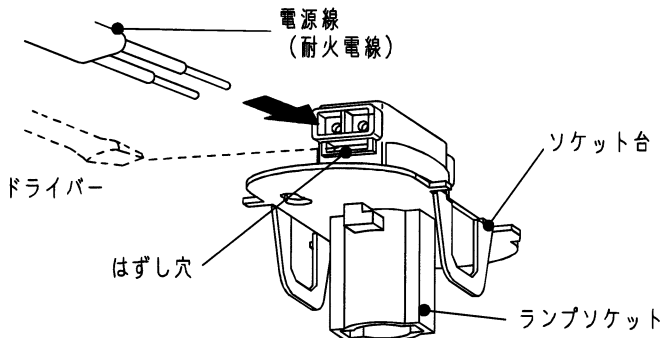
- 本体を取付ボルトで確実に取付ける。
(取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する)
不備がありますと器具落下の原因となります。

ボルトで固定したとき、器具と天井との間にスキ間ができる場合は、取付ボルトを使用しない場合の「5. 本体を取付金具で取付ける」を参照して取付金具により補正してください。

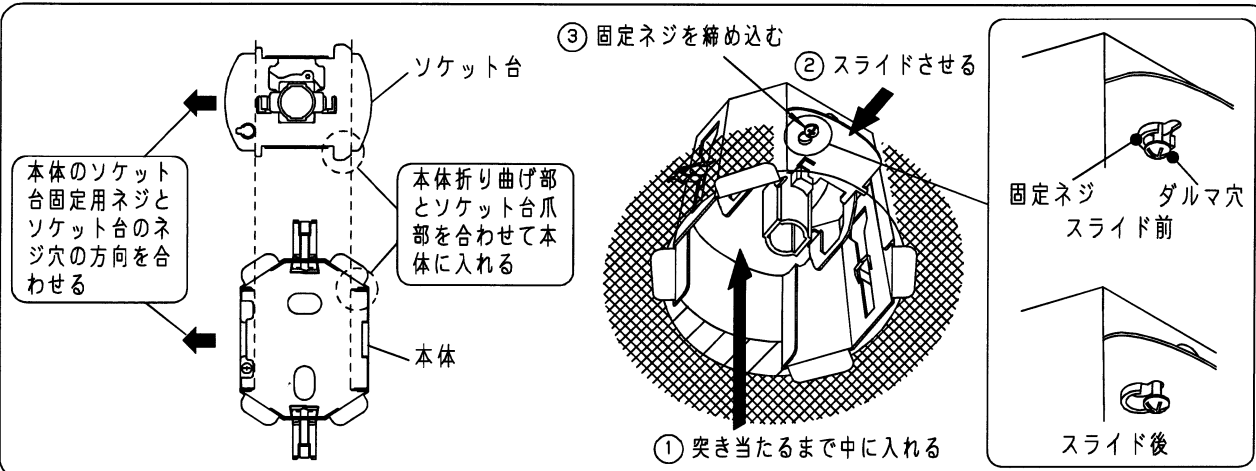


6. ソケットに電源線を接続する

電源線の接続方法

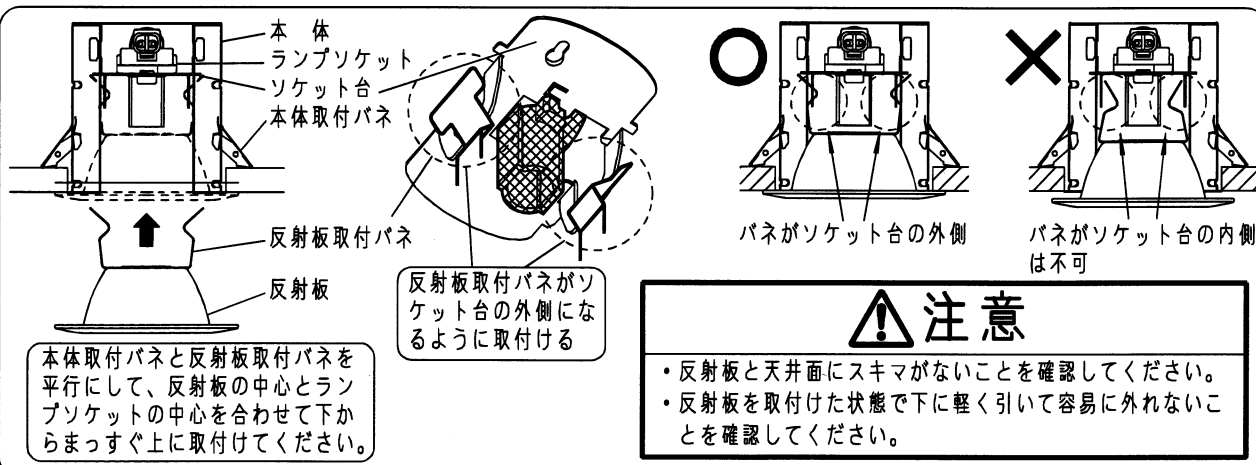


7. ソケット台を本体に取付ける



不備がありますと器具落下の原因となります。

8. 反射板を取付ける



不備がありますと器具落下の原因となります。

9. ランプを確実に取付ける

- ランプはソケットの奥までしっかりとねじ込んでください。
不備がありますと火災・落下の原因となります。

取扱説明

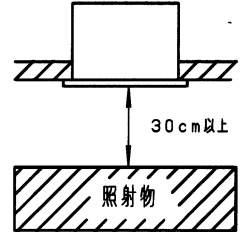
お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用しない。火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は30cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かないでください。やけど・感電の原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際には、必ず電源を切って、約10分してから行ってください。やけど・感電の原因となります。
- ランプ交換の際には、本体表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。（※1）法令に基づいて定期的に点検を実施してください。点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- 「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。（チェックシート番号：CLX2021HA）

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。

- ◆ 定期点検 3ヵ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。6ヵ月に1回は、外観点検および機能点検を行なってください。（点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。）

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ・ランプ交換 **注意** 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

- 器具の清掃について・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤でふかないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。
- ランプ交換について・・・本体表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製のランプを使用してください。



注意	指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。
適合 ランプ	
ミニクリプトン電球	LDS100V 36W・C・K

注意
点灯中や消灯直後（約10分まで）は、ランプをさわらないでください。やけどの原因となります

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

0120-878-709（フリーダイヤル） 0120-872-460（FAX）

N0415-020618